

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。



自転車の交通事故発生状況

令和4年中



1 自転車の交通事故発生状況

令和4年中の自転車事故（同乗者を含む自転車乗用者が死傷した交通事故）は、前年と比較して発生件数、負傷者数ともに増加しました。

また、死亡事故については3件3人（前年比－2件－2人）となり、前年比で減少しました。

【自転車の交通事故発生状況】 (令和4年中)

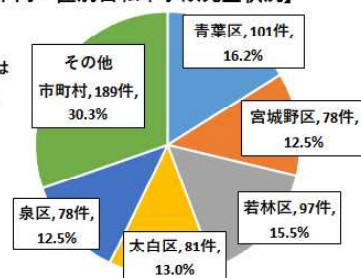
区 分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件 数	死者数	重 傷	軽 傷	計
本 年	624	3	3	91	539	630
前 年	586	5	5	84	504	588
増 減 数	38	-2	-2	7	35	42
増 減 率	6.5	-40.0	-40.0	8.3	6.9	7.1

【仙台市内・区別自転車事故発生状況】

2 仙台市内の自転車交通事故の発生状況

県内の自転車事故の約7割(624件中435件、69.7%)が仙台市内で発生し、同市内の自転車事故については発生件数及び負傷者数ともに前年比で増加しました。

内訳は、青葉区が101件で最も多く、次いで若林区が97件と多くなりました。



【仙台市内の自転車の交通事故発生状況】 (令和4年中)

区 分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件 数	死者数	重 傷	軽 傷	計
本 年	435	0	0	59	380	439
前 年	390	1	1	48	348	396
増 減 数	45	-1	-1	11	32	43
増 減 率	11.5	-100.0	-100.0	22.9	9.2	10.9

3 自転車が第1当事者となった事故の発生状況 (基礎データ平成29年～令和4年)

令和4年中の自転車が第1当事者となった人身交通事故は27件（死者2人、傷者26人）発生し、発生件数、死者数及び負傷者のいずれも前年比で増加しました。

区 分	自転車×歩行者			自転車×自転車			自転車×二・四輪車			自転車単独			計		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
平成29年	30	0	33	5	0	5	3	0	3	2	2	0	40	2	41
平成30年	22	0	22	9	0	9	6	1	5	4	0	4	41	1	40
令和元年	27	0	27	13	0	13	4	0	4	2	1	1	46	1	45
令和2年	22	0	22	11	0	13	4	0	6	1	1	0	38	1	41
令和3年	14	0	14	8	0	10	0	0	0	0	0	0	22	0	24
令和4年	14	0	14	6	0	6	3	0	4	4	2	2	27	2	26
前年比	0	0	0	-2	0	-4	3	0	4	4	2	2	5	2	2

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

4 自転車事故の発生推移 (基礎データ平成25年～令和4年)

令和4年中の発生件数は、ピーク時である平成16年(2,208件)の3割以下まで減少した一方で、平成22年以降減少を続けていたところ、増加に転じました。

死者数は、近年、交通事故による死者数が減少する中、増減を繰り返しており、平成25年以降は7人以下で推移しています。



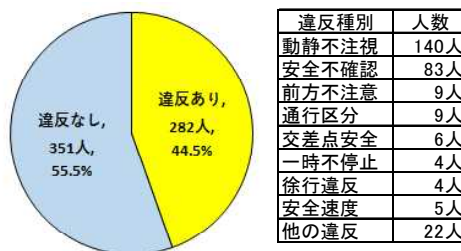
5 自転車事故の特徴等 (基礎データ令和4年中)

(1) 死傷者の4割以上に違反

自転車乗用中死傷者の4割以上(633人中282人。44.5%)に違反が認められます。

違反別では、動静不注視(282人中140人。49.6%)と安全不確認(83人。29.4%)が多くなりました。

【自転車死傷者の違反】

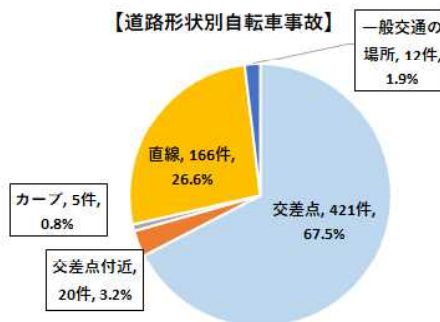


(2) 交差点での発生が多い

道路形状別では、約7割(624件中421件。67.5%)が交差点で発生し、全事故の構成率(4,117件中1,664件。40.4%)を27.1ポイント上回りました。

また、事故類型別では、出会い頭の事故が約半数(624件中315件。50.5%)を占めており、全事故での構成率(4,117件中940件。22.8%)を27.7ポイント上回りました。

【道路形状別自転車事故】

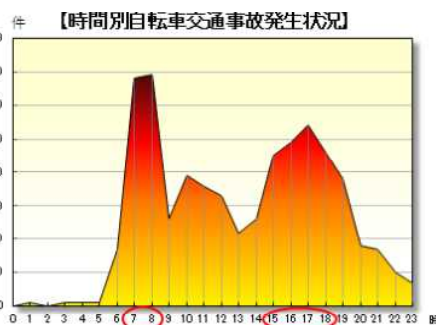
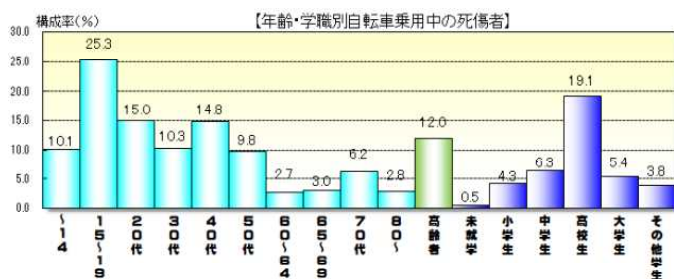


(3) 朝夕の通勤・通学時間帯の発生が多い

発生時間別では、朝の7時台～8時台及び夕方の15時台～18時台を中心に、通勤・通学時間帯に多発しました。

(4) 高校生の事故が多い

年代別に比べると15～19歳の割合が160人(25.3%)と最も多く、学職別でも高校生の割合が121人(19.1%)と最も多く発生しました。



区分	計	年代別Ⅰ										年代別Ⅱ						
		～14	15～19	20代	30代	40代	50代	60～64	65～69	70代	80～	高齢者	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	その他学生
死傷者数	633	64	160	95	65	94	62	17	19	39	18	76	3	27	40	121	34	24
死者数	3											3						
負傷者数	630	64	160	95	65	94	62	17	18	39	16	73	3	27	40	121	34	24

(5) ヘルメットの着用率が低い

自転車乗用中の死傷者633人のうち、ヘルメットを着用していたのは56人(8.8%)で、着用率が極めて低調です。

また、重傷以上の死傷者では、ヘルメット非着用の85人のうち19人(22.4%)は、ヘルメットを着用していれば負傷の程度を軽減できたと考えられます。

	死亡	重傷	軽傷	死傷者計
着用	0	9	47	56
非着用	3	82	492	577
うち効果あり	1	18	43	62